

講義、実習の概要

講座名	原子炉工学特別講座
題目	放射線防護 ■講義 □実習
所要時間	4.0 時間
実施場所	関東会場（東京都内） 関西会場（関西電力能力開発センター） ■講義室 □非管理区域 □第1種管理区域 □第2種管理区域
本講義のねらい	原子炉主任技術者筆記試験の試験科目「放射線測定及び放射線障害の防止」の学習に必要な知識を得る。
概要	以下の内容について概説する。 1) 放射線防護体系、線量限度 2) 放射線の人体影響 3) 放射性物質の体内移行、食物連鎖・被ばく経路 4) 個人モニタリング 5) 放射線測定機器 6) 放射線防護 7) 放射線（能）モニタリング 8) 原子力防災対策 9) 自然放射線源による被ばく
キーワード	放射線測定、放射線障害の防止、放射線防護、ICRP、ALARA、線量限度、等価線量、放射線荷重係数、組織荷重係数、実効線量、確率的影響、確定的影響、放射線障害、急性障害、晩発性障害、放射線感受性、しきい線量、細胞周期、酸素効果比、モニタリング、個人線量計、放射能汚染、外部被ばく、内部被ばく、体内移行、サーベイメータ、空間線量率、表面密度、原子力防災
使用する RI、危険物、重量物等	無し